

たいし 議会 だより

180号

令和4年 3月定例会

◆定例会概要

◆4議員が町政を問う (←一般質問)

◆議会のうごき

p1～p10

p11～p12

p13～p16

次の定例会は、
6月に開催されます。
ぜひ、傍聴にお越し
ください。

日程については、ホームページ、
広報無線でお知らせします。

本会議の傍聴に来られる人へのお願い

新型コロナウイルス感染症対策として、傍聴に来られる人については、次の事項を遵守の上、参加をお願いします。

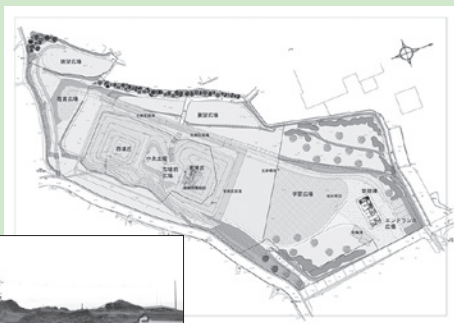
○マスクの着用 ○手指消毒 ○検温 ○間隔をあけて着席

※傍聴者が多数予測される場合は、当日、事前に傍聴券を配布する場合があります。

令和4年度予算 総額

主な計画事業

国指定史跡二子塚古墳（整備イメージ図）



高規格救急車の更新



金剛バス IC 化



国指定史跡二子塚古墳保存整備事業（5115万3千円） / 高規格救急車更新（4392万2千円） / 地域公共交通事業、金剛バス IC 化等（1676万9千円） / 総合スポーツ公園維持管理事業（4432万6千円） / 農業次世代人材投資事業（884万2千円） / コンビニ交付事業、住民票等（884万4千円） / 文化・スポーツ活動活性化事業補助金（300万円） / 新小学1年生・新中学1年生に対する入学祝品贈呈（199万円） / 郷土の偉人中山久蔵顕彰事業（44万6千円） / 新生児への聴覚検査費用の助成（35万5千円） など

第1回定例会は、3月1日に招集され、25日までの25日間にわたって開かれました。今定例会では、当初予算、補正予算、条例改正、請願、意見書などについて審議されました。また、一般質問には、4人の議員が登壇し、活発な議論が交わされました。



予 算

当初予算の特徴

4年度予算は、第5次総合計画に掲げた「人と自然と歴史が交流し、未来へつなぐ和のまちたいし」の基本理念に基づき予算編成を行った。新たな取り組みとして、マイナンバーカードを活用した住民票などのコンビニ交付の実施、文化・スポーツ活動活性化事業、新生児への聴覚検査費用の助成、地域公共交通事業（金剛バス IC カード化、上ノ太子駅に定期券売場などの設置）などのほか、継続事業として、生涯学習施設の備品類等の整備、国指定史跡二子塚古墳保存整備事業等に係る経費などを計上した。

●一般会計

質 疑

◆政策総務部

問 新型コロナウイルス感染症が税収に与える影響は。

答 内閣府の試算では、令和3年度後半はワクチン接種の効果から景気が回復傾向にあり、GDP成長率もプラス3.1%が予測されていることから、本町の個人及び法人町民税についても同率の増収を見込んでいます。

問 本町の財政状況は。

答 中長期的に見ても、依然として基金から取り崩しをしなければ予算編成が出来ない状況が予測され、府公表のように財政の逼迫が懸念されることから、より一層堅実な財政運営を行なっていく必要があると認識している。

問 公用車の電気自動車への更新は。

答 昨年7月、脱炭素社会の形成をめざして「太子町ゼロカーボンシティ宣言」を発出した。

今後、公用車やコミュニティバスを更新する際は、電気自動車も視野に入れて検討する。

問 高規格救急車を更新するのは。

答 車両整備基準に基づき、購入から8年が経過したから。現行車両は、官公庁オークションにより売却予定。

◆健康福祉部

問 重層的支援体制整備事業の詳細は。

答 社会福祉行政は、介護や障がい福祉、児童福祉など、各担当分野別に相談窓口が分かれているが、本事業実施で、属性や世代を問わない一体的な相談支援体制を構築し、相談

90億385万3千円を可決

者の不安や課題を包括的に支援出来るようにするもの。

社会福祉協議会に委託している地域力強化推進事業等のモデル事業の実施ノウハウを活かしながら、事業を展開していきたい。

問 新生児聴覚検査委託料の対象見込人数は。

答 70名を想定している。

問 外出支援事業への新型コロナウイルス感染症の影響は。

答 主に通院や生活用品の買い出しなど、日常生活に必要な外出のための利用が多いため、新型コロナウイルス感染症の影響で利用頻度が減少しているような実態は見受けられない。

◆まちづくり推進部

問 衣類リユース事業の詳細は。

答 まだ着ることの出来る衣類を住民の皆様から頂戴し、衣類のリユースを通じてパラスポーツ競技団体を支援する「ふくのわプロジェクト」に参画。配送料2万円を計上。4年度は実証実験で、結果を踏まえて5年度以降の事業化を検討する。

問 飲食店舗開業補助金の対象範囲を拡大しては。

答 本事業は、来訪者からの「飲食店舗がない」という声をもとに創設した制度であるため、対象地域も来訪者の多い叡福寺並びに竹内街道周辺に限定している。

これとは別に、対象範囲が町全域で、かつ飲食業以外の業種も対象となる創業支援補助金制度があり、町としては、この2つの制度を柱に誘致を図っていく考え。

問 空き家バンクの登録状況は。

答 4年1月に1件のマッチングがあったが、現在は空き家登録が無い。本町が把握している111軒の空き家所有者全員にアンケートを行ない、制度に関心のある人には個別に電話で説明するなどの対応を実施した。

◆教育委員会

問 小中学校の35人学級の実現を。

答 国から示されている方針は小学校のみだが、本町では中学校の35人学級の実現にも取り組んでいく。府から教員の加配がなされると聞けるが、今後、加配配置がつかなくても、

町として35人学級の実現に努める。

問 総合体育館設備改修等工事請負費の詳細は。

答 4年11月から5年1月までの3ヶ月間。メインアリーナの床面塗装の塗り替えと、照明を水銀灯からLED灯へ改修する。

問 郷土の偉人中山久蔵顕彰事業で37万4千円もの多額の職員旅費を計上している理由は。

答 4年度に北海道北広島市で、寒冷稲作発祥150周年記念事業のイベントが開催される。資料確認及び現地調査に加えて、協定締結団体との公式交流の場を設けるという趣旨のもと、予算計上した。

本来であれば、町長又は教育長が正式に訪問すべきところだが、5年度の150周年記念事業の事前準備なので、文化財資料に詳しい教育次長と担当課長及び担当職員3名分、2泊3日の職員旅費を計上。人選及び日数ともに適当だと考える。

令和4年度 各会計予算

会計名	予算額	対前年度伸率 (%)
一般会計	55億5951万円	▲1.4%
国民健康保険特別会計	14億7524万9千円	▲2.2%
山田財産区特別会計	463万8千円	11.9%
春日財産区特別会計	101万7千円	12.1%
介護保険特別会計	13億6124万6千円	▲1.6%
後期高齢者医療特別会計	2億4131万3千円	5.5%
下水道事業会計	3億6088万円	▲7.7%
合計	90億385万3千円	▲1.6%

※下水道事業会計の予算規模は、収益的支出－減価償却＋資本的支出で算定

討 論

【反対】 迅速なワクチン接種や集団健診の実施、新生児聴覚補助の実施、太子町地域公共交通会議に議員を加えたこと、町単費になっても「小中学校の35人学級実施」に踏み切ったことは、日本共産党議員団が長年、提案してきたことでもあり大いに評価するが、生涯学習センターの使用料徴収は、住民に対する丁寧な説明がない。「受益者負担の観点から、行政サービスを受ける対価として、一部負担は、施設を使用する者と使用しない者との公平性の確保から妥当」と言うが自治体は企業ではない。「住民福祉の増進を図る」機関としての役割を果たす責任がある。住民から200万円の使用料を取る一方で、300万円もの補助金は、辻褄が合わない。文化・スポーツ団体だけで、福祉の分野で頑張っている団体は対象になっていない。1団体2万円、予算満額の150団体が申請すれば、職員の仕事量も膨大に。ところが、職員を増やす予定はなく、期末手当が削減された。人件費をどう考えるのか。さらに「中山久蔵顕彰事業」に旅費37万4千円。令和4年度の予算は、町税は増え、交付税は増え、繰入金は減り、借金も減っており、財政の厳しさを読み取ることは不可能。厳しいのは住民の生活。国・

府のこの間の病院・保健所つぶしで、医療が崩壊、命すら危ぶまれている。これまで町のためにと頑張ってきた観光・まちづくり協会の組織体制が、ゴツソリ変わり、多くの公民館利用者の方が、がっかりしている。住民を悲しませる町政でいいのか？ 問い直すことを求め反対。

【賛成】 文化・スポーツ分野の団体への活動を支援するための補助制度の創設、生涯学習センターが今年7月にオープンすることは、住民福祉のサービス向上として評価する。使用料の有料化には様々な意見があったが、経過措置として令和4年度中に限り町内在住の方の料金の徴収を猶予されたことは高く評価する。中山久蔵顕彰事業が昨年引き続き予算計上されたが、コロナ禍の収束が見通せない状況では、慎重な予算執行を求める。住民票のコンビニ交付サービスの導入や「新生児聴覚検査」費用の助成。地域共生社会の実現に向け、高齢者、障がい者、子どもなど分野を超えた重層的支援体制の拡充、地域公共交通の利用促進対策や道路や橋梁などの老朽化対策、住民の命を守る高規格救急車の更新、「GIGA スクール構想実現」に向けた学校ICT環境の整備、小中一貫教育による少人数学級の完全実施や貴重な歴史遺産である国指定史跡二子塚古墳の保存整備など住民の負託に

応える事業が数多く盛り込まれたものとなっている。コロナ禍で国税の収支見通しも不透明な中、地方自治体の歳入の根幹をなす町税収入は、コロナ禍以前に比べ低い水準にあり、自主財源確保が困難な状況が続くことが考えられることから、各種事業の予算執行に関しては、慎重な執行を強く求めるとともに、今後も、更なる創意と工夫で、限られた財源を効果的・効率的に配分し、健全な行財政運営に努めることを要望し賛成。

● 一般会計予算に対する修正動議

【発議者】 西田いく子、藤井千代美
【内容】 教育費の「郷土の偉人 中山久蔵顕彰事業」旅費37万4千円を減額し、歳入歳出総額を55億5951千円を55億5913万6千円に改める。

討 論

【反対】 寒地稲作150年という節目を令和5年度に迎えるにあたり、中山久蔵顕彰事業をすすめている。協定に基づき、北広島市と協議の上で計画された事業であり実施に何ら問題はない。旅費が高額となるのは否めないが、観光や防災等の面で連携拡大を見込むこともでき、北広島市との関係は有意義なものと考えている。予算の執行に関しては、慎重な執行を求め修正に反対。

町税予算額の状況

(単位：千円、%)

税 目	令和4年度		令和3年度		増減額	増減率
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比		
1 町 民 税	700,890	50.3	676,389	49.5	24,501	3.6
個 人	666,600	47.8	647,084	47.4	19,516	3
法 人	34,290	2.5	29,305	2.1	4,985	17
2 固 定 資 産 税	497,500	35.6	522,840	38.3	▲25,340	▲4.8
3 軽 自 動 車 税	43,600	3.1	40,100	2.9	3,500	8.7
4 市 町 村 た ば こ 税	153,400	11	126,900	9.3	26,500	20.9
5 入 湯 税	150	0	200	0	▲50	▲25.0
合 計	1,395,540	100	1,366,429	100	29,111	2.1

※入湯税の用途については、「環境衛生等基金」への基金積立事務事業へ充てる。

【賛成】 コロナ禍の中、人と人とのつながりが断ち切られている。公民館利用者から「200万円」を奪い、リモートで会議、仕事も行われるようになってきている現在でありながら、住民、児童・生徒に「3密を避けよう」「無駄な外出は控えよう」と呼びかけながら、1人で行くのは失礼に当たるとするのが一般常識だという理由をつけてまで3人分の予算をつけて旅費だけで「37万4千円」もかけて2泊3日も行く必要があるのか。危機管理上も大丈夫なのかという疑問もあり修正に賛成。

●国民健康保険

質 疑

問 未就学児均等割保険料軽減の詳細は。

答 均等割額が、政令軽減のかかっていない場合は半額、政令軽減2割の場合は6割、政令軽減5割の場合は7.5割、政令軽減7割の場合は8.5割が軽減される制度。

問 集団健診での血痰やピロリ菌の検査の実施状況は。

答 関係課と協議しながら実施できる項目については検討していきたい。

問 府の国民健康保険財政安定化基金の残高と活用予定は。

答 現在134億円の基金残高。今後増加が見込まれる保険料を抑制するため、町村長会等を通じて基金の活用を求めていく。

討 論

【反対】 国保の加入世帯主の4割が年金生活者などの無職、3割が非正規労働者で、低所得者が多く加入する医療保険だが、平均保険料は、4人世帯の場合、同じ年収のサラリーマンの健康保険料の2倍。高すぎる保険料を引き下げ、国保の構造的な問題を解決するには、公費を投入するしかない。国保が「都道府県化」されても自治体が独自の公費繰入で保険料軽減は可能。値上げが待ち構えている都道府県化には反対を。コロナ禍で、住民のくらしが大変な時に保険料を値上げすることに対し、反対。

【賛成】 保険給付の適正化及び被保

険者の健康増進に努め、コロナ禍の状況に対応した感染防止対策をとり、集団健康診査を計画的に実施し、被保険者の受診機会の増加に努めるなど、保健事業の充実にも取り組んでいる。前年度同様に基金繰入金を計上し、独自の激変緩和措置を講じ、保険料の上昇抑制に努め、被保険者の負担への配慮、健康増進にも積極的に配慮した予算。今後は国や府の動向を注視し、連携を図るとともに、被保険者の立場に沿った制度運営と健全な会計に、引き続き努めるよう要望して賛成。

●山田財産区

質 疑

問 NTT反射板の契約は解消されるのか。

答 令和4年度から解消することになっていない。引き続き財産貸付収入を見込んでいる。

問 森林の維持管理に関して、森林組合から専門的なアドバイスを受けているのか。

答 維持管理に関する課題の解決に向けて、森林組合等の専門的な団体に積極的に相談していきたい。



山地崩壊、倒木荒れる山

●介護保険

質 疑

問 介護現場における新型コロナウイルス感染症の影響は。

答 高齢者施設でクラスターが発生した際、衛生用品を配布するなどの支援に加えて、新規の受け入れが困難となった高齢者施設に代わり、配食サービスや看護師の派遣などの在宅療養支援を実施した。

問 介護離職の実態は。

答 現在、介護離職に関する相談はほとんど受けていないが、介護者への支援策として、介護家族の集いの

場などに出向き必要な情報提供を行うなどの取り組みを実施している。

討 論

【反対】 「保険あって介護なし」の状況が強まっている。上がり続ける介護保険料を抜本的に改善するために、国庫負担割合を引き上げるよう要望を。町は法を守り、住民から取り過ぎた保険料を基金にため込むのではなく、保険料値下げに使うべき。全国でも高い大阪府内で、基準額6,480円は、第10位。藤井寺市が期の途中で値下げをした。今からでも住民福祉の増進を第一に基金を使って保険料の引き下げを求めて反対。

【賛成】 地域包括ケアシステムの深化、推進、地域共生社会実現へ高齢者の社会参加・介護予防に向けた取り組みや、認知症の方への支援、医療と介護の連携、並びに高齢者を地域で支えていく体制を構築するなど、地域づくりの推進や様々な課題に対して適切に対応できる包括的な支援体制に取り組むなど充実した内容。尚一層の保険給付の適正化に努め、高齢化の進行に対応し介護保険事業の円滑な提供・運営に努めることを要望し賛成。

●後期高齢者医療

質 疑

問 窓口負担2割化に伴う本町への影響人数は。

答 約403人が2割負担に移行する見込み。軽減される現役世代の負担額は一人当たり月額30円。

問 保険証の郵便料とは。

答 現在の保険証が7月31日付で有効期限が切れるため、7月中旬に一度全被保険者に保険証を郵送し、次に10月1日からの2割負担の施行に伴い、負担割合を再判定した保険証を9月に郵送する経費を計上。

討 論

【反対】 2021年6月に75歳以上医療費窓口負担2割化法が強行された。この法律が実施されると、10月から年収200万円以上の人370万人、後期高齢者医療制度加入者の約20%の方が、2割負担になる。必要な医療

条 例

●地域公共交通会議条例中改正

【提案理由】 道路運送法及び地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の規定に基づき、地域における需要に応じた住民の生活に必要なバス等の旅客輸送の確保、その他旅客の利便の増進を図り、地域の实情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議し、並びに地域公共交通網形成計画の作成及び実施に関する協議を行うため平成30年4月1日に地域公共交通会議を設置。この地域公共交通会議委員に議会議員を追加し、その知見をもって地域公共交通の更なる充実を図る。

質 疑

問 交通会議の委員に選出される議員の数は。

答 太子町議会議員から2名。

●職員の育児休業等に関する条例中改正

【内容】 1. 非常勤職員の育児休業等の取得要件の緩和①育児休業、部分休業の取得要件のうち「引き続き在職した期間が1年以上」との要件の廃止

2. 育児休業を取得しやすい勤務環境の整備に関する措置等①妊娠・出産等を申し出た職員に対する個別の周知・意向確認②勤務環境の整備（研修実施・相談体制整備等）

【施行期日】 令和4年4月1日

質 疑

問 育児休業等の取得状況は。

答 令和3年度実績で、会計年度任用職員は産前産後休業1名、育児休業2名。正職員は産前産後休業2名、育児休業2名でうち1名は男性職員。

問 会計年度任用職員の人数と男女比率は。

答 男性33名、女性114名、計147名。

●一般職の職員の給与に関する条例中改正

【提案理由】 令和3年人事院勧告に伴う改正

・令和4年度以降の期末手当の引下げ
・令和3年度の期末手当の改定に相当する額を令和4年6月の期末手当から減額し、調整を行う

・民間の支給状況等を踏まえ、令和4年度以降の期末手当の支給率を引下げ

再任用以外の職員 0.15月の引下げ
4.45月→4.30月

再任用職員 0.1月の引下げ 2.35月
→2.25月

※月例給は、据え置き

質 疑

問 会計年度任用職員の期末手当にも適用されるのか。

答 一般職と同様に支給月数を引き下げる。

問 本改正に伴う影響額は。

答 令和4年6月期の期末手当での調整額は一人当たり平均5万6千円、一般職119名全体で約666万5千円。

討 論

【反対】 人事院勧告に最終的な拘束力はない。職員の職務状況は、昨年から続くコロナ禍に置かれ、感染防止しながら住民を感染から守るために、様々な対策、ワクチン接種のために町職員を挙げて取り組むなど、尋常とは思えない努力が続けられてきた。日本は30年も賃金が上がっていない。職員さんの期末手当を下げることは消費を引き下げ、地域経済に影響を及ぼすのでは。今回の給与引き下げは、あまりにも無慈悲で職員の勤務実態と逆行するものになっている。改善をめざすべきであり、引き下げという改悪は、許されるものでなく反対。

【賛成】 労働基本権制約の代償措置として、国家公務員の給与水準を民間企業従業員の給与水準と均衡させることを基本とする人事院給与勧告の趣旨を踏まえ、国に準じた改正を行うもの。職員組合と十分協議している。職員の方々には、コロナ禍の中、住民の命と健康を守る最前線に立ち、感染予防対策をはじめ、生活支援や事業者支援対策並びに、ワクチン接種などの業務にあたってい

が受けられなくなることを前提にした負担増は高齢者のいのち・健康権・人権の侵害。必要な給付は、保険料だけでなく、公的負担と事業主負担で保障すべきだし、先進国では、医療費の窓口負担は無料が当たり前。保険料・窓口負担の引き上げをやめさせ、差別と負担増の制度を廃止し、高齢者が安心して入院治療・療養ができる制度となることを求めて反対。

【賛成】 広域連合議会で決定した保険料率などにに基づき編成。4年度から、団塊世代の後期高齢者医療への移行による急速な被保険者数と保険給付費の増加が見込まれる中、国は、持続可能な制度とするため、この間も保険料の特例軽減の見直し、10月からは医療機関等での窓口負担も見直す。広域連合は、決算余剰金を活用し令和4、5年度の保険料の上昇を抑制するなど適切な措置がとられている。今後も国の動向を注視しながら、制度の円滑な運営に引き続き努力するよう要望し賛成。

●下水道事業会計

質 疑

問 南河内4市町村広域化事業負担金の詳細は。

答 対象区域は管路調査として磯長台地区1千500m、葉室地区220m、太子地区80m。施設点検として春日地区20m、山田地区20m、太子地区800mをストックマネジメント計画に基づいて実施する予定。磯長台地区は、令和5年度から上水道管の更新工事が行われる予定で、それに先駆けた調査。



磯長台が開発（昭和49年3月14日～50年7月9日第7区完了）されて以来の上水道管の更新と同時に下水道管の改築更新

ただいていることは承知している。しかしながら、現在の社会情勢を鑑みて、人事院勧告で示された期末手当の支給割合の改正はやむを得ないと考え賛成。

●町立生涯学習センター設置条例制定

【提案理由】 令和4年7月に開館する生涯学習センターの設置目的をはじめとするセンターの管理及び運営に係る基本的な事項を定めるもの。

【内容】 センターの設置目的、名称、位置、管理主体や使用制限、使用料に関するもの。

【施行期日】 令和4年4月1日

質 疑

問 基本使用料の無料化又は減額を。

答 使用料は公平な利用に供しなければならない公の施設にあって、利用者がその施設の便益を受ける対価として負担を求め、施設を利用しない方との公平性を図るという考え方である受益者負担の原則に基づき、施設の維持管理経費の一部として徴収するものである。根拠のない金額設定はしがたい。

問 町外利用者の確認方法は。

答 申請者の住所を確認。団体である場合は、利用者の過半数以上が町内在住、在勤又は在学であれば、町内利用者として判断する。

問 減免の適用基準は。

答 一部の利用者のみ減免するという考え方はそぐわない。町又は教育委員会など公共的団体が、公共の事業に関連するために使用した場合などを想定したもの。

問 太子町文化・スポーツ活動活性化事業の活用を想定している団体数は。

答 文化連盟所属クラブ及びサークル約60団体、スポーツ系団体約30団体に加え、町が把握していない団体も考慮して150団体を想定している。

問 生涯学習センターの所長を務める職員は。

答 生涯学習課長が所長を兼務することになるが、会計年度任用職員の施設管理者や事務職員を配置して適正に管理していく。

◆町長より訂正議案が！

※令和4年7月1日から令和5年3月31日までは、本町に在住する者がセンターを使用するときは（使用料を）適用しない旨の経過措置を追記。

討 論

【反対】 「公平性」を言うが、学校体育館など子ども達には知る人ぞ知る中で無料で貸し出している。総合体育館でも中学生以下は半額の減免がある。施設によって違う対応に手を付けなくて、新しく建った生涯学習施設だけが、一般の減免はないと言い切るのこそ不公平。また、減免制度は？時間設定は？子どもも大人と同額の料金？部屋によって金額がまちまちでいいのか？等の疑問への確かな答弁がない。結果「経過措置」が取られることに。住民の願いは、「公民館は無料」。教育委員会は、社会教育としての公民館を投げ捨てるな。町長は、受益者負担は当たり前だと自治体がまるで民間企業になったかのような理論を振りかざして「高齢者が活躍できる場」から追い払うようなことはやめて、住民に対し丁寧な説明、署名の願いにこたえた有料化撤回を求めて反対。

【賛成】 センターを使用しない方との公平性を確保するという観点から、総合体育館などと同様に、施設を利用する方に、使用料を負担していただくことは、妥当であると考え。金額も、単に維持管理の費用からの算出ではなく、近隣施設との均衡をはかった金額であり、利用者の負担について配慮されている。1月に実施されたアンケートでも、使用料の徴収について賛成52.8%、反対の方22.5%と、過半数が賛成。一定、住民の皆さまの民意と考えられる。新しく文化、スポーツ等の活動に対する支援事業を立ち上げたことや、経過措置として、使用料の徴収を猶予する期間を設けたことは、今日まで活動してきた方々に対する配慮であり、今まで生涯学習を行ってこなかった方に施設を知って使っていただくことで、新たな生涯学習を拡大した

いという思いの表れであり、生涯学習の発展につながることで、評価できる。将来にわたり安定的に維持運営されるよう努力されることを要望し賛成。

●町立図書館設置条例制定

【提案理由】 令和4年7月に開館する太子町立図書館の条例制定を行うもの。

【内容】 公立図書館としての根拠法令、名称及び位置など基本的な事項を制定するもの。

また附則において、従来の太子町立図書室設置条例を廃止する。

【施行期日】 令和4年4月1日

質 疑

問 図書館協議会を設立する意向は。

答 図書館法に基づいた図書館協議会ではなく、町独自組織の設立を検討している。



図書館に「郷土と調べものの部屋」コーナー

●国民健康保険条例中改正

【内容】 「全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律（令和3年法律第66号）」の施行に伴い、令和4年4月1日からの未就学児の均等割保険料の軽減措置が講じられることを踏まえた本条例の改正を、令和3年第4回定例会で行い、今回新たに未就学児の均等割保険料軽減に係る端数処理の考え方等を明確化する通知があったことから、本条例の一部を改正するもの。

前回改正と同様に、令和4年度の保険料より適用する。

【施行期日】 令和4年4月1日

問 未就学児均等割保険料軽減の端数処理を行うことによる保険料への影響は。

補正予算

補正予算

会計名	補正額	補正後の総額
3年度一般会計（第13号）	6846万2千円	66億8001万円
3年度一般会計（第14号）	3684万8千円	67億1685万8千円
3年度介護保険（第4号）	1117万円	14億3395万5千円
3年度後期高齢者医療（第1号）	839万4千円	2億3711万2千円
4年度一般会計（第1号）	8734万4千円	56億4685万4千円

●3年度一般会計(第13号)

質 疑

問 障がい児通所等給付費を増額補正する理由は。

答 令和3年4月から相談窓口を子育て支援課に一本化したことで、各種健診や教室時に臨床心理士等の専門士がより丁寧に児童と接することが出来るようになり、結果として発達障がいの早期発見により療育の場の提供に繋がったことが理由の一つ。

問 乳幼児等予防接種委託料を減額補正する理由は。

答 本町での出生数は平成29年度をピークに減少。今年度も当初の見込数を下回ったことが直接の原因。新型コロナウイルス感染症による受診控えなどの影響は見られない。

問 農業次世代人材投資事業を減額補正する理由は。

答 当初8名を見込んでいたものの、補助要件に合致しなかったり、自己都合による辞退などで最終5名となったことが原因。

●3年度一般会計(第14号)

問 ふるさと納税制度を活用して、太子町民が他の地方自治体に寄付した額は。

答 平成31年度1997万3千円、令和2年度2221万7千円、令和3年度2666万円。

問 4回目の新型コロナワクチン集団接種に係る職員の配備体制は。

答 1回目、2回目の集団接種は基本的に職員のみで対応したが、職員に係る負担が大きいことから、3回目の集団接種は一部業務委託のス

タッフによる体制を構築。4回目も、これまでの経験を踏まえて対応していく。

●3年度介護保険(第4号)

質 疑

問 第8期の保険料算定への影響は。

答 支払基金交付金の算定に用いる令和2年度介護給付費は既に確定しているため、第8期の保険料算定に影響は無い。

●3年度後期高齢者医療(第1号)

質 疑

問 保険基盤安定繰入金を減額する理由は。

答 年度途中で被保険者数が減少したことに伴い、保険基盤安定繰入金も減額補正した。

●4年度一般会計(第1号)

質 疑

問 国の事業復活支援金制度の審査が厳格化されたことに対する町の対応は。

答 事前確認と本申請という2段階の手続きが必要。国も申請手続きを支援するサポートセンターを設置して対応。本町も、窓口や広報紙を通じて案内している。

問 事業者一時支援金のような給付型に加えて、税金等の負担軽減策を実施する意向は。

答 国の事業復活支援金制度に合わせて事業者一時支援金制度を設けている。令和3年度には町内の事業所を対象に固定資産税の負担軽減措置も実施した。

答 1円未満を切り上げることで被保険者の負担はその分軽減される。また、軽減した額については一般会計から全額繰り入れるため、被保険者の保険料には影響はない。

●消防団条例中改正

【提案理由】 近年、消防団員数の減少は歯止めがかからず、他方では、災害が多発化・激甚化し、消防団の役割も多様化しており、団員一人ひとりの負担も大きくなっている。本改正は、そうした消防団員の労苦に報いるため、消防庁が取りまとめた「非常備消防団員の報酬等の基準」をもとに、出勤手当、年額報酬を見直し、消防団員の処遇改善を図るもの。

質 疑

問 消防団員の確保に関する課題は。

答 地区によっては消防団員の担い手が不足し、現在10名程度の欠員が生じている。消防団活動のPR及び住民理解の促進が課題の一つと考える。

問 年額報酬を全階級で一律4,500円引き下げた理由は。

答 団員は消防庁から示された基準に引き下げ、団員以外の階級は、国からの基準はないものの、団員と同額を引き下げた。

問 報酬の支給方法は。

答 年額報酬、出勤報酬ともに消防団員個人の口座に振り込みを行っている。



消防団の定例訓練

一般会計補正予算（第1号）
**交付金を活用しての
 新型コロナ対策**
 （限度額8690万円）

- ☆水道基本料金の全額免除
 一般水道基本料金（418円/月）を4～9月使用料分までの6か月間全額免除
- ☆町立幼小中学校の給食費の無償化
 1学期分（4～7月）までの学校園給食費保護者負担分の補助
- ☆太子町版特別定額給付金
 4月1日から5年3月31日に生まれた乳児1人あたり10万円を支給
- ☆町立小中学校の感染防止対策
 修学旅行等のバスの増便費用及びキャンセル料の補助支援
- ☆自宅療養者への支援
 自宅療養者に食料品や日用品の詰め合わせを支給
- ☆議会映像配信等の整備
 マイク設備などの更新等を含む整備
- ☆事業者支援激励金
 セーフティネット保証等の認定を受け、金融機関から大阪府制度融資を受けた中小事業者に対し、10万円を支給
- ☆事業者一時支援金
 支援の対象となる事業者に対し、法人上限20万円、個人上限10万円を支給
- ☆健康マイレージ協賛事業者支援事業
 事業実施時に協賛いただいた企業から同等の記念品を購入
 その他

同 意

●副町長の選任について同意を求める件

（令和4年4月1日から。任期4年）

齋藤 健吾 氏

その他

●（仮称）太子町生涯学習センター備品購入契約締結の件

【提案理由】備品の購入について、制限付き公募型プロポーザルにより契約業者を選考した結果、株式会社内田洋行 大阪支店に決定したため、議会の議決を求める。

・公募期間 令和3年12月24日から令和4年1月21日まで

・プレゼンテーション実施日 令和4年2月10日

・仮契約日 令和4年2月15日

【内容】契約金額 2918万4640円
 内、取引に係る消費税及び地方消費税の額 265万1740円

専決処分

●河南町、太子町及び千早赤阪村介護認定審査会共同設置規約の変更に関する協議

【内容】介護認定審査会の事務局を輪番制により太子町から千早赤阪村に変更するにあたり、規約中の「太子町」を「千早赤阪村」に変更するとともに、執務場所を「太子町役場内」から「千早赤阪村役場内」とし、執務を行うにあたり必要となる規定は、千早赤阪村の条例等に準ずることとするための附則改正を行う。

質 疑

問 介護認定の件数は。

答 令和3年4月～12月までの審査件数は352件。年々増加傾向にある。

問 介護認定審査会の開催頻度を増やす意向は。

答 新型コロナウイルス感染症の影響で、主治医の意見書が遅れることもあるが、30日以内に審査結果を出せるよう努めている。

補正予算

会計名	補正額	補正後の総額
3年度一般会計（第11号）	3億1442万円	65億9429万6千円
3年度一般会計（第12号）	1725万2千円	66億1154万8千円

●3年度一般会計補正予算（第11号）

【内容】ふるさと太子応援基金寄付金事業及び住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業において、早急な対応が必要となったため。

【歳出】

●ふるさと太子応援基金積立金
 1億1259万5千円

●ふるさと太子応援基金寄付金事業業務委託料
 4287万4千円

●住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業

・給付金1億5120万円

・事務費 775万1千円

●3年度一般会計補正予算（第12号）

【内容】新型コロナウイルス感染症へ早急な対応が必要となったため。

【歳出】

●議会議案書ペーパーレス化環境整備
 381万7千円

●子育て世帯への臨時特別給付金（離婚世帯分）給付事業

・郵便料2千円、給付金100万円

●自宅療養支援等事業

・消耗品費200万円

・備品購入費50万円

●新入学応援緊急給付金事業

・消耗品費1万円、郵便料2万円、給付金630万円

など

請 願

● 町立の生涯学習施設利用の有料化撤回を求める請願

【請願者】 岡野秀子氏、他17人

【紹介議員】 西田いく子、藤井千代美

【請願趣旨 全文】 太子町には、町民が屋内で気軽に無料で使える施設は、公民館しかありません。いま、この公民館を建て替え図書館も併設した複合施設、生涯学習施設の建設が進められています。町民は、新しい施設の建設を心待ちにしてきました。

ところが、今年の3月には生涯学習施設の利用を有料化する条例を議会に提出するというのです。突然の有料化の提案にビックリです。こんなことが実行されたら町民の暮らしは激変します。気軽に無料で使える施設がなくなります。太子町では2018年度で延べ2万5045人、1764団体が公民館で学び、住民のつながりを深め、健康増進に取り組んできています。この町民の生きがいを町当局が奪い取るようなことは絶対にあってはならないと思います。町民の行き場を取り上げるようなことは止めて下さい。私たちは、町民の願いを形に1月半ばから

「町立の生涯学習施設利用の有料化撤回を求めます」との署名を集め、2月3日には667筆の署名を町長に届けました。太子町は、町民の公民館の利用実績を誇りとし、さらに多くの町民が生き生きと生活していくために、「有料化」ではなく、町民の活動を支えていく事が求められているのではないのでしょうか。教育委員会と懇談をした際、「有料か無料か、決めるのは町議会の判断」との答えがありました。

つきましては、太子町議会として、太子町に対し、有料化計画は撤回するよう求めてください。

・町立の生涯学習施設利用の有料化を撤回し、誰もが無料で利用できるよう求める。

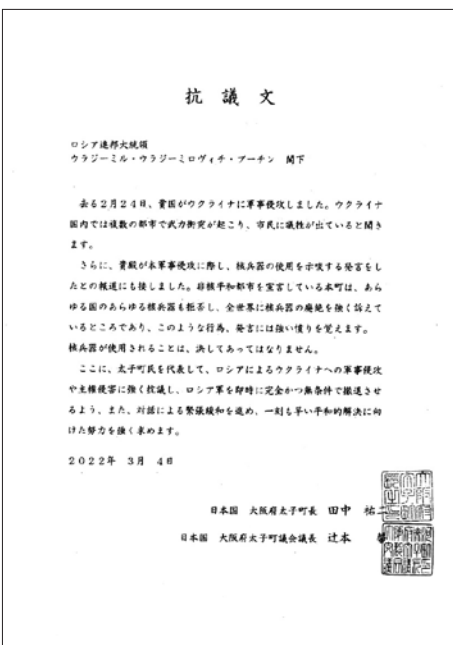
討 論

【反対】 この間、建設場所の問題など議論をされてきたが、7月にようやく開館に。使用料が規定されている。使用料は、施設を占有して使用することに対する経費の一部として、使用しない方との公平性を確保するために負担してもらうもので、将来の子どもたちに大切に引き継いでいくために重要な財源。使用料の徴収は、生涯学習

に関するアンケートでも、賛成が過半数以上と、民意として結果が出ている。また、使用料の徴収は、猶予期間を設けるよう追加訂正もされた。更には、別事業だが、文化、スポーツ等の活動に対する支援事業を立ち上げ、補助金として、予算計上されてることも評価できるものであり反対。

【賛成】 町長の「高齢者が健康で生き生きと暮らして頂くことは町の活性化においても非常に重要となりますので、高齢者が活躍できる場の創出や健康増進に貢献して頂いております、団体・個人などの支援を進める必要がある」との所信表明とは真逆の有料化。公民館で、町の健康増進にも寄与してきた方々から200万円を奪う一方で300万円の補助金をばらまく。請願者の皆さんの思い、町長に提出された1532筆に込められた住民の思いに寄り添う判断をいただきたい。アンケート結果の有料化賛成を人数ではなく52.8%と多く見せようとしているが、1532筆とは比べようもない。公民館の精神を生かし、住民誰もが、いつでも自由に使える施設、住民に喜ばれる施設にするために賛成。

抗 議 文



ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に対し抗議します

ロシア連邦がウクライナへの軍事侵攻を開始し、また核兵器の使用を示唆した一連の行動に対して、太子町長ならびに太子町議会議長と連名で、在日ロシア連邦大使館あてに、次の抗議文を送付しました。 2022年3月4日

【抗議文】

ロシア連邦大統領 ウラジーミル・ウラジーミロヴィチ・プーチン 閣下

去る2月24日、貴国がウクライナに軍事侵攻しました。ウクライナ国内では複数の都市で武力衝突が起こり、市民に犠牲が出ていると聞きます。

さらに、貴殿が本軍事侵攻に際し、核兵器の使用を示唆する発言をしたとの報道にも接しました。非核平和都市を宣言している本町は、あらゆる国のあらゆる核兵器も拒否し、全世界に核兵器の廃絶を強く訴えているところであり、このような行為、発言には強い憤りを覚えます。

核兵器が使用されることは、決してあってはなりません。

ここに、太子町民を代表して、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻や主権侵害に強く抗議し、ロシア軍を即時に完全かつ無条件で撤退させるよう、また、対話による緊張緩和を進め、一刻も早い平和的解決に向けた努力を強く求めます。

日本国 大阪府太子町長 田中 祐二
日本国 大阪府太子町議会議長 辻本 馨

第1回定例会 審議結果一覧表

件名	審議結果	斧田秀明	建石良明	西田いく子	藤井千代美	辻本ひろゆき	村井浩二	中村直幸	森田忠彦	山田 強	辻本 馨
令和3年度一般会計補正予算（第11号）の専決処分の件	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和3年度一般会計補正予算（第12号）の専決処分の件	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
(仮称)生涯学習センター備品購入契約締結の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
河南町、太子町及び千早赤阪村介護認定審査会共同設置規約の変更に関する協議について	可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	—
地域公共交通会議条例中改正の件	可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	—
職員の育児休業等に関する条例中改正の件	可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等中改正の件	可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	—
一般職の職員の給与に関する条例中改正の件	可決	欠	○	●	●	○	○	○	○	○	—
町立生涯学習センター設置条例議案の訂正について	許可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	—
町立生涯学習センター設置条例制定の件	訂正後可決	欠	○	●	●	○	○	○	○	●	—
町立図書館設置条例制定の件	可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	—
国民健康保険条例中改正の件	可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	—
消防団条例中改正の件	可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	—
消防団員等公務災害補償条例中改正の件	可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	—
3年度一般会計補正予算（第13号）	可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	—
3年度介護保険特別会計補正予算（第4号）	可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	—
3年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	—
4年度一般会計予算に対する修正動議	否決	欠	●	○	○	●	●	●	●	●	—
4年度一般会計予算	可決	欠	○	●	●	○	○	○	○	○	—
4年度国民健康保険特別会計予算	可決	欠	○	●	●	○	○	○	○	○	—
4年度山田財産区特別会計予算	可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	—
4年度春日財産区特別会計予算	可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	—
4年度介護保険特別会計予算	可決	欠	○	●	●	○	○	○	○	○	—
4年度後期高齢者医療特別会計予算	可決	欠	○	●	●	○	○	○	○	○	—
4年度下水道事業会計予算	可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	—
3年度一般会計補正予算（第14号）	可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	—
4年度一般会計補正予算（第1号）	可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	—
副町長の選任について同意を求める件	同意	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	—
町立の生涯学習施設利用の有料化撤回を求める請願	不採択	欠	●	○	○	●	●	●	●	○	—

各議員の審議結果 ○賛成 ●反対 — 議長 ※可否同数の場合は、議長採決



小中一貫教育の実施 について

大阪維新の会
建石 良明 議員

問 これまでの取組状況、今後の取組について。

答 これまでも小中学校間の「段差」の解消を重視した教育に取り組んできたが、「中一ギャップ」や不登校などの諸課題では、各学校単位での取組には限界があり、小中連携の必要性が高まってきた。令和3年度は「小中一貫教育推進委員会」を立ち上げ、『太子町教育大綱』の基本理念に基づく『小中一貫教育基本方針』を策定し、環境を整備した。4年度からは、町立小中学校すべてで、35人学級を町独自で完全実施し、各学校が歩んできた歴史や文化、地域との密着した良好な関係を最大限活かし、今ある小中学校がそのまま存続する「施設分離型」の形態で「確かな学力及び体力の定着と向上」「学校生活への適応力の向上」「豊かな人間性の育成」「教職員の指導力向上」「郷土を愛する心とグローバルな人材の育成」の5つの実践の柱を基本に、町にふさわしい小中一貫教育を推進する。

消防の広域化について

問 これまでの経過や今後の取組について。

答 消防の広域化は、柏原羽曳野藤井寺消防組合、河内長野市消防本部及び富田林市消防本部を統合する形で検討しており、令和6年4月の実現をめざしている。消防の広域化は、近年多発する甚大な自然災害に対応するために有効な手段で、消防本部や119番通報を受け出動指令を出す指令センターなどを集約し効率的に運用することにより、現場要員を増やすことができるなど、消防力の強化が可能となる。また、高齢化などにより救急需要が増加する中、救急車の出動についてもより確実に対応することが可能となり、さらには、指令センターやはしご車を効率的に運用することで消防費用を削減することができる。このようなことから、消防の広域化は住民の生命、身体、財産を守るため、また将来の財産負担軽減のため必要な取組であり、引き続き実現に向けて取組んでいく。



富田林市消防署 太子分署



コロナ禍における 地域コミュニティの 今後の対策について

公明クラブ
辻本 ひろゆき 議員

問 これまで中止になっている町のイベントは、今後どのように行っていくのか。

答 町ではイベントを開催するに当たっては、住民の皆さまが健康被害を及ぼすことがないよう、安全を第一に考えてきた。この2年間、各イベントを主催する団体においても様々な制限や、ガイドラインなどを考慮しながら、開催できないか、協議を重ねてきたが、参加者の安全確保、感染拡大を防ぐためやむを得ないとして、中止を決断した。そのような状況下においても、今年度は「懐かしのひな人形展」を万全の感染対策を行い、竹内街道沿いで実施した。

各種イベントや行事は、住民の皆さまが主体となり、企画・運営し、今日まで長きに渡り実績をつみあげてきたもので、本町の掲げる協働のまちづくりにおいて重要な役割を担っている。今後も、参加者や関係者の健康や安全を第一に考え、どのような手法でイベントや行事を行うことが可能であるかを判断していく必要がある。国や大阪府が示

すガイドラインなどを参考にしながら、にぎわいを取り戻してまいりたいと考える。

問 様々なイベント自粛による影響で子どもたちの受ける心や身体のケアをどのようにしていくのか。

答 行事の規模縮小や日常生活におけるさまざまな制限が、子どもたちに少なからず影響をもたらしているのは事実。町立小中学校では「子どもたちの学びを止めない」「可能な限り例年通りの行事を実施」を目標とし、GIGAスクール構想による、一人1台端末の貸与が実施したことで、リモートでの交流などの取組みにも挑戦している。心のケアでは、カウンセリング週間、アンケート調査などで、子どもたちの心の変化に気づけるよう配慮。子どもたちの居場所としての学校構築のため、取組みたい。



令和元年ふれあいT A I S H I



ヤングケアラーに 支援を

日本共産党
藤井 千代美 議員

問 「ヤングケアラー」とは、本来であれば大人が担う家族の世話をしている18歳未満の子どもたちのこと。子どもたちの年齢や成熟度から「負担が重すぎる」、それを子どもが担うとは想定されていないために「ほかの人に話すことができない孤独感を抱えている」、というのが多くのヤングケアラーに共通している。

厚労省と文科省が2021年4月に公表した中高生を対象にした実態調査では、中学2年生の5.7%、全日制の高校2年生の4.1%が、世話をする家族がいると回答。親に代わって幼いきょうだいのケアをする姿も浮き彫りになっている。

府教育委員会は、「府立高校性の生活実態に関するアンケート調査」を行い「ヤングケアラー」が9割以上の府立高校にいと発表した。

埼玉県では、2020年3月に「埼玉県ケアラー支援条例」が議会で成立。東京都では、2021年の3月議会で、全会

派一致で「東京都子ども基本条例」を制定した。

すでに自治体で様々な取り組みが始まっている。以前にも西田議員が質問したが、その後の対応、今後、どのように取り組んでいくのか。

答 本町では詳細な実態調査は行っていないが、府主催でヤングケアラーに関する担当課長会議が予定されており、4年度から実施する重層的支援体制整備事業で、属性・世代を問わない相談支援体制を実施。ヤングケアラー支援は教育と福祉の連携が不可欠なものであり、全庁的な相談支援に関わる事業と一体的に実施することが重要だと考える。関係機関と連携し、子どもたちの見守り・支援に継続して取り組む。また、先進事例の研究を進め、取り組みを深めたい。

要望 学校は唯一ケアから解放される場所、悩み事を打ち明けたりできる大人がいる場所。学校と福祉部門などの連携を推進するのは、自治体の責任。ヤングケアラーに対する具体的な取り組みを強く求める。



生涯学習施設有料化撤回を 求める住民の思いを 重く受け止めよ

日本共産党
西田 いく子 議員

問 「町立の生涯学習施設利用の有料化を撤回することを求めます」という願いを込めた1,532筆の署名が町長に届けられ、議会には18人の請願者の名を連ねた『町立の生涯学習施設利用の有料化撤回を求める請願』が提出された。これまでの「公民館活動」をどう評価しているのか。「使用料」(200万円)と「社会教育団体育成事業」(300万円)の考え方は。サークルの活動費が負担になり、サークル数や利用者数が減るとは考えないのか。

答 公民館は地域交流の場、教育及び文化に関する各種事業を行い、住民の各種自主活動の場として、今日まで利用されてきた。公民館では45のクラブと19のサークル、延べ754人が利用。全ての活動が新しい施設で継続してもらえると考える。補助金を有効に活用し、学習活動を一層、活性化させていただければと考える。住民のニーズに沿った講座、事業などを幅広く行い、センターの機能が十分発揮できるよう取り組み、多くの皆さまに生涯学習に取り組

んでいただける施設をめざしたい。

要望 使用料を取ることが、健康増進に貢献している高齢者に対する支援なのか。公民館で活動する住民を趣味や嗜好と切って捨てるのではなく、文化芸術を応援する暖かい町づくりを。

町長公約、学校給食費無償化に 踏み出せ

問 この4月からは、河南町と千早赤阪村の南河内郡3町村の内、太子町を除く2つの自治体が、給食費を無償化する。無償化には5300万円が必要とのこと。町長公約の「育ち盛りの食育を支えるため、学校給食費の無償化へ」の実施を。

答 安全と安心を最優先にした政策の優先性を見極めながら、学校給食費の無償化実現に向けて、適切な時期・内容で無償化を実施できるよう検討する。



1日1,100食を町立幼稚園・小中学校へ届けています(給食センター)



議会改革協議会

1月14日、「議会の映像配信」「陳情・要望書」について議論しました。河南町議会の6月議会初日の本会議を傍聴し、タブレット端末使用状況と、庁舎内に映像が配信されている様子を視察しました。太子町議会としましても住民の皆様が開かれた議会をめざし、また議会への理解と関心を高めていただくことを目的として、議会の映像配信を進めていくことを確認しました。

4月5日は「タブレットの導入結果」「議会の映像配信」「政務活動費の公開」について議論し、映像配信については早ければ9月議会から、政務活動費の公開は令和3年度分からホームページで公開することが決まりました。

全員協議会

2月1日、「一般会計補正予算(第11号)」「大阪南消防広域化」「新型コロナウイルスワクチンの3回目接種」「非課税世帯の給付金」について理事者側からの説明を受け質疑を行いました。

2月22日、「生涯学習センター備品購入契約締結の件」(制限付き公募型プロポーザルによる選考で5社がプレゼンテーションを行った結果、株式会社内田洋行 大阪支店に決まりました)、他「新型コロナウイルス感染症対応型地方創生臨時交付金事業」「公共施設総合管理計画修正に係るパブリックコメント」、「第4次健康太子21(案)」と

「地域防災計画(修正案)」「観光まちづくりビジョン後期(案)」のパブリックコメントの結果、「ハザードマップの修正」について説明があり質疑を行いました。

3月1日、「陳情・要望書の取り扱い」について(下記、表参照)審議しました。

3月4日、「ロシアによるウクライナ侵攻」について町長、議長連名で抗議文を送ることを決めました(P9参照)。

3月17日「副町長の選任について同意を求める件」「小中一貫教育基本方針」「産業の振興を図る必要がある地域における工場等の立地を目的とする開発行為等の取扱い基準(案)」について説明が

ありました。特に「産業の振興を図る必要がある地域における工場等の立地を目的とする開発行為等の取扱い基準(案)」は、新たな産業を誘致することにより雇用の創出・地域経済の活性化を図るため、工場等の立地を目的とする太子町基準の制定を行うことを決め、大阪府に許可を求めているとの報告です。誘致したい建築物の概要としては「製紙、プラスチック加工工場。家具工場をはじめとする木工製品製造工場。農産物の生産加工工場等とのことです。



3月1日の全員協議会におきまして、陳情・要望書を今定例会へ上程するか継続審議とするのか、取扱いについて審議しました。採決の結果をお知らせします。

件名	斧田 秀明	建石 良明	西田 いく子	藤井 千代美	辻本 ひろゆき	村井 浩二	中村 直幸	森田 忠彦	山田 強	辻本 馨
ウイグルの人権問題に対し国に調査を求める意見書採択のお願い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	欠	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	—
ウイグル等の人権問題に対し国に調査を求める意見書採択のお願い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	欠	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	—
介護職員の処遇改善に関する手続きの簡素化と対象職種拡大を求める意見書(案)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○	欠	○	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○	—
母(毛嘉萍(モウカヘイ))が中国で不法に逮捕されている件に関する要望	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	欠	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	—
政党助成法に基づく政党交付金制度の廃止を求める意見書(案)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○	欠	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	—

各議員の賛否 ○賛成 □継続審議 — 議長 ※賛否が同数の場合は、議長採決

【タブレット操作説明会の開催】

2月25日、議場にてタブレット操作説明会が開催されました。

この3月議会は、従来の紙ベースでの予算書、議案書等が議員に配られており、タブレットと併用ですが、6月議会からは、タブレットのみになります。

普段スマホを利用していますので、一定の操作までは、呑み込めますが、パスワードを記憶し、ダウンロードして、開いたページに付箋をつけたり、書き込んだりなどをタブレット上で処理しようとする、そう簡単にはいきません。質問が飛び交う中での説明会となりました。今もなお収束の目途がつかないコロナ感染症によってリモートでの議会開催も始まっています。緊急時こそ議会の果たす役割は大きいものがあります。遅延なく議会を開催するためにもタブレットを使つての議会も必要に迫られています。



委員会で実際にタブレットを活用しました

生涯学習施設建設調査特別委員会

2月21日、第33回特別委員会を開催しました。「生涯学習に関するアンケート結果報告」「生涯学習センターの運用」について協議しました。供用開始は、7月1日予定で、休館日は全館、月曜日と



床も天井もこれからの現場 (2月21日)

年末年始で祝日は開館します。開館時間は公民館部分午前9時～午後9時まで、図書館部分は午前10時～午後6時までです。アンケートですが、16歳以上の住民に対し、無記名方式で2000通郵送しました。回収されたのは、670通でした。部屋の面積から算出した1時間当たりの使用料 (200円～500円) が初めて提示され、このまま3月議会に使用料を明記した「条例」を提案するという事でした。その後、建設中の現場を視察しました。

4月5日、第34回特別委員会が招集され、建設工事完成に伴う施設見学会を行いました。

図書館は、書棚が並び、児童のエリアは南側の窓から光が差し込み、明るくかわいらしいつくりになっています。2階、3階の各部屋もまだ備品はそろっていませんが、広々としており、7月オープンが楽しみです。

町内の方々の予約受付は2カ月前、5月から始まります。ぜひ、新しい施設をご利用ください。

表彰

3月25日、最終本会議後、西田いく子議員、建石良明議員、村井浩二議員が表彰の伝達を受けました。



大阪府町村議会議長会「永年在職議会議員表彰」議員の部 (22年以上)



全国町村議会議長会「自治功労者表彰」特別功労表彰

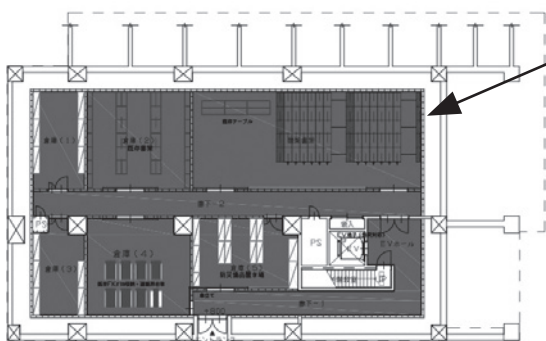


『太子の森』 生涯学習センターを 紹介します！



3万冊収納できる「閉架書庫」

光が差し込む「児童のエリア」



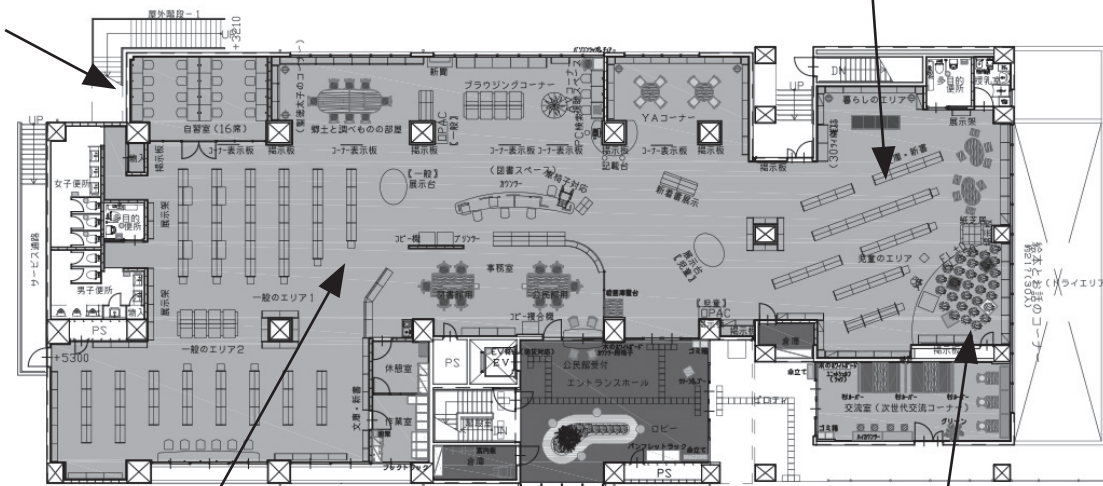
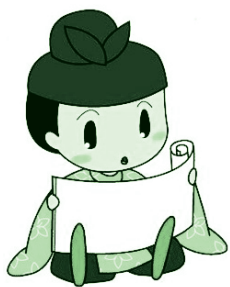
1F

緑の回廊

倉庫、書庫のフロアです。住民の方が直接入ることはありませんが、正面玄関、緑の回廊から施設一階につながる通路があります。



「自習室」で勉強を



2F 図書館

「開架書庫」には最大6万冊入ります。ゆったりと読書を。



「絵本とお話のコーナー」



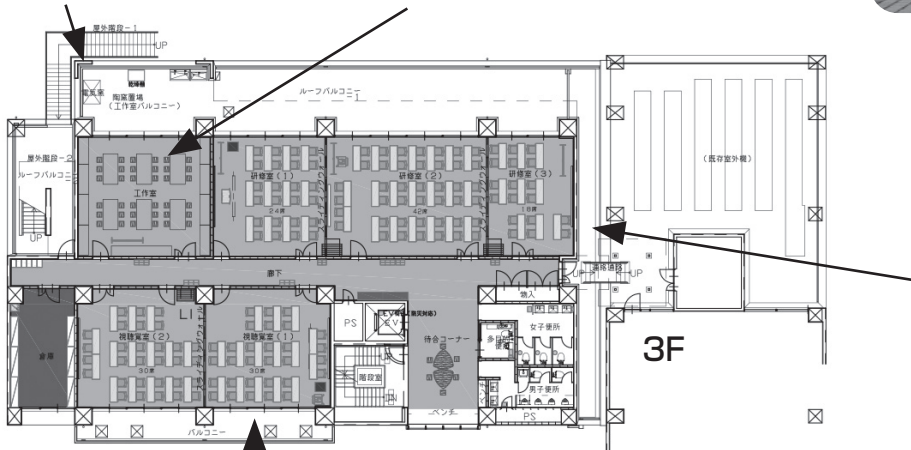
「電気室」



「工作室」
作品を並べる棚もふんだんに



イベント広場から見た「太子の森」
正面が2階図書館



「研修室」
パーティションで広さを変えることができます。
東の窓からは二上山が見えます。



「視聴覚室」



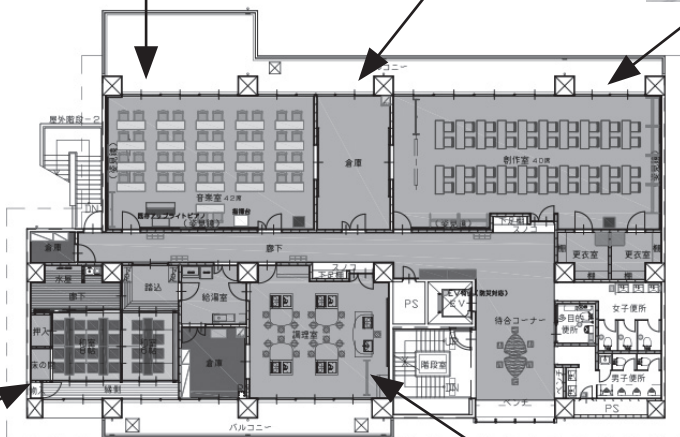
「音楽室」



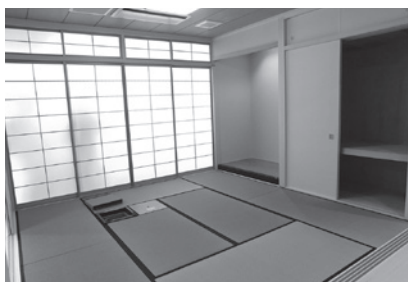
「倉庫」



「創作室」でダンスはいかが？



4F



真新しい畳の匂いがある「和室」



1テーブル4人。
20人が入れる「調理室」